

宝塚市協働のまちづくり促進委員会 協働のマニュアル策定部会(第9回・第2期第3回) 会議録	
開催日時	平成28年7月26日(火) 18:30~20:30
開催場所	宝塚市役所3階 特別会議室
次 第	1 開 会 2 議事録 宝塚市協働のまちづくり促進委員会(第13回)議事録 3 議 事 (1) 検討内容について (2) 部会の進行について 4 その他 5 閉 会
出席委員	久委員長、飯室委員、石谷委員、加藤委員、熊澤委員、古村委員、高松委員、中山委員、檜垣委員、久米委員、田中委員
開催形態	公開(傍聴人0)

1 開会

第9回・第2期第3回宝塚市協働のまちづくり促進委員会協働のマニュアル策定部会の開会。

事務局から、本日の委員出席者数は11人、欠席者は1人であり、過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立していること及び傍聴希望者がいないことを報告した。

新委員である加藤委員の挨拶。その他委員の挨拶。

2 議事録

宝塚市協働のまちづくり促進委員会(第13回)議事録については、修正等の意見がなく、ホームページに掲載することを委員が了承した。

3 議事

(1) 検討内容について

今後の検討内容について、事務局より、市民向け及び市職員向け「事例集」の提案を行った。その後、質疑応答及び久会長からの補足説明等があった。

ア【会長意見】事務局案に対して、何か意見はあるか。

イ 協働の指針とマニュアルのコンパクト版(持ち運びができるような)があれば良いと思う。

ウ【会長意見】今日は、今後の検討内容について、いろんなアイデアを出してほしい。

エ 職員アンケートを読んでいて、職員にとって、市民と協働しながら事業を進めていくことの難しさ、対等の立場でなかなか言えない本音を知ることができた。(感想)

- オ【会長意見】市民と市との協働の事例で、他市の事例を挙げると、大阪府富田林市がある。現在、青少年センターの建て替え中であるが、利用者である青少年を集めてワークショップを行う企画で、協働の担当者がワークショップ担当者と子育てNPO団体との懸け橋となり、結果、協働がうまくいった事例がある。現在、多くの市職員は協働するにしてもどこに言っていけばよいかわからない状況にあると思う。そのため、うまく協働できるように市職員へ示していけたらと思う。
- カ 今後、市職員と一緒に協働のルールを作っていく必要があると思う。
- キ 市民と市との協働といっても、いろんな形がある。提案であるが、委員が実際に外部の取組事例について取材しに行くというのはどうか。
- ク 職員アンケートを読んで、市職員はいろんな部署で勤務しているため、それぞれ職場によってやり方があると思う。市職員の仕事を知ってから考えていけたらと思う。
- ケ 市職員に直接、話を聞けたら良いと思う。若手も含めて公募で職員を募ってはどうか。
- コ 実際に実務を行っている職員に意見を聞くのが良いのでは。
- サ 市職員と一緒に事例集を作っていけたらと思う。この会議では、委員各々が地域活動の経験を持ち寄って会議を行っているため、外に出て行ってヒアリングというのは、難しいのではないか。
- シ 6W2H (When (いつ)、Where (どこで)、Who (誰が)、Whom (誰に)、Why (なぜ)、What (何を)、How (どのように)、How much (いくら)) がすぐわかる事例集が良いと思う。
- ス【会長意見】いろんな協働のスタイルを分類、整理してみるのも1つである。
- セ 市民向け事例集は、委員が自分たちの事例を見返しながらまとめる、そして、市職員向け事例集は、市にヒアリングしながらまとめてはどうか。
- ソ 以前、資料で使用した協働の指針ワークショップのまとめはまだあるのか。→ある
- タ 「協働の指針」、「協働のマニュアル」には、良いことがたくさん書かれている。行政も市民も本気で協働したいと思っているのか。意見交換する場が必要である。
- チ 現在、宝塚市には、宝塚ホテルの建物保存の問題など、協働で行っていかなければならない課題がたくさんある。
- ツ 人と人とのつながりはとても重要である。人のつながりができることで協働が成り立つと思う。
- テ 組織とつながるのではなく、人とつながることが大事。
- ト【会長意見】八尾市には、登録制で市職員が地域職員としてボランティアできる制度がある。
- ナ 宝塚にまち協ができていなかったらと考えると…まち協があったからできている事業もたくさんある。逆に考えると、活発に活動している部分もあるのでは。
- ニ【会長意見】次回、何をするのかを決めたい。大きくは、2つのパターンが意見として出た。①わかりやすく、楽しみながら協働をすることを訴えるような冊子、②指針の解釈本のような冊子の2つである。この両輪で進めても良いし、どちらかから作成していくことでも良いと思う。何かアイデアはあるか。
- ヌ わかりやすいものが良いと思う。
- ネ【会長意見】「協働って楽しいよ」というようなタイトルで、事例の写真を載せなが

ら示すのも良いかと思う。

ノ 成功すると楽しく感じると思う。

ハ【会長意見】成功事例をお伝えすることで、市職員が「協働」への一歩を踏み込んでいけるような勇気が出るのではないかと思う。ポイントとしては、写真等を用いて、楽しい雰囲気をどう伝えていくかが大切であると思う。成功事例の内容については、前期で用いた事例紹介の資料、以前行ったワークショップのまとめを用いて、次回、議論等できたらと思う。

4 その他

ア 事務局より、協働のまちづくりプロジェクトチームについて、メンバーの紹介を行うとともに、市民説明会の準備の進捗状況について報告を行った。

5 閉会